

動画で分かる！マイカタ調査

山梨出張含む市名の読み方全国調査まとまる

◎動画スクリーンショットあり

市は、昨年実施した枚方を「ひらかた」と正しく読める人がどれだけいるかを調べる「マイカタちやいます、」全国調査の結果や、全国で唯一回答者がいなかった山梨県で市職員が追加調査した様子をまとめた動画を YouTube などで公開している。動画は山梨県での追加調査を行った職員の手作りで、予算はゼロ。市のキャラクターひこぼしくんがテロップを通して説明するストーリー仕立てになっている。市名の読み方の全国調査という他に例を見ないユニークな取り組みにふさわしい「オモロい」公開手法を模索する中で動画にすることを思いついた。担当職員は「枚方を正しく読めるかは最終的にはもはやどうでもよくなりました。調査のばかばかしさを感じて、こんなことをしている自治体があるということを知ってもらえれば」と話す。動画は2分 47 秒。



▲動画のスクリーンショット

動画は市公式 YouTube (https://youtu.be/HB_4ua5yC1w) で公開中。
右記コードからも視聴できる。



★広報課では以前から電話で「マイカタ市」と呼ばれたり、郵便物の宛名が「枚方市」となっていたりと「市名を正確に知られていない」と感じていた。そこで、平成 28 年から読み間違えられやすい市名を逆手に取った PR 活動を展開。活動を続ける中で「そもそもマイカタと読んでしまう人が全国にどれだけいるのか？」という素朴な疑問から昨年、全国で枚方のことを「マイカタ」と読んでしまう人の割合を調査した。

★調査では大阪を除く全ての都道府県からの回答を目指し、広報課窓口や市ホームページにあったA5判4ページの「調査手帳」で調査員に回答してもらった。全国で115人が調査員として協力、1371人が回答したが、



▲調査手帳表紙



▲調査手帳中面

山梨県のみ回答者がゼロだったことから「山梨県で直接調査するしかない」と今年3月、甲府市に市職員を派遣して追加調査を行った。山梨県では甲府市シティプロモーション課の全面協力のもと、JR甲府駅前で100人に調査を行った。

★動画は担当職員が普段趣味で見ているゲーム実況などのYouTube動画から着想を得て編集したもので、全国調査にいたった経緯や山梨県での調査の様子をコミカルにまとめている。主に若者に面白がってもらえるようにテンポや効果音を工夫しているほか、動画内のBGMや効果音はインターネットのフリー素材からイメージに合うものを探し出して利用している。

★担当職員は「こんなばかばかしいことをしている自治体があると少しでも多くの人に知ってもらえたら。そして、引っ越しなどを考える際にそういえばオモロいことしてた自治体があったな、と思い出してもらえたら、マイカタと呼ばれてもかまいません」と話す。

<お問い合わせ>

市長公室 広報課 ☎ : 072-841-1258 FAX : 072-846-5341